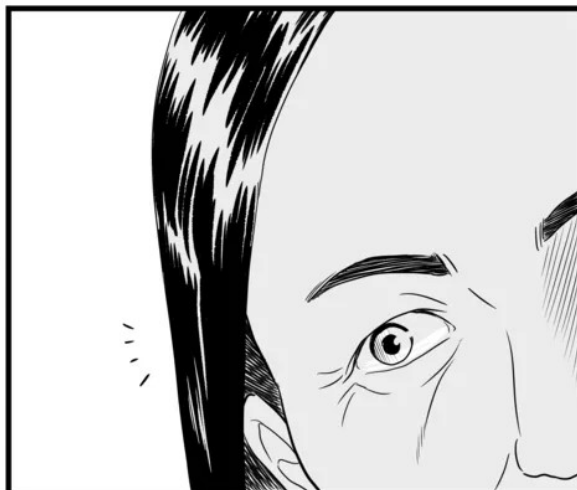


幸子の夏休み











セフレの剛と別れてから
もう三カ月ね：



剛と出会った
のは去年

この浜辺だった

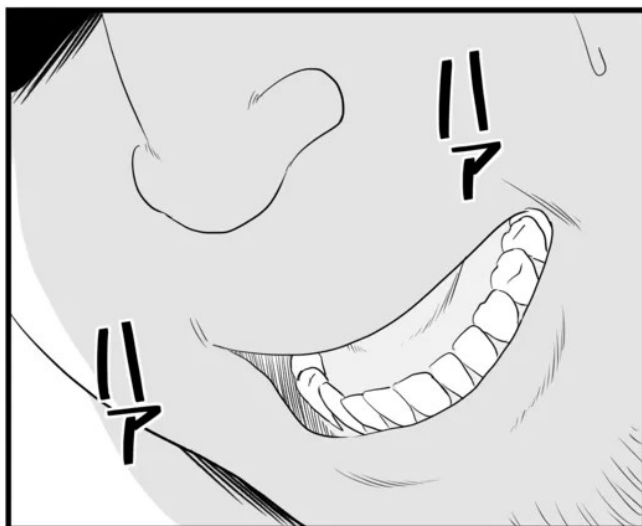
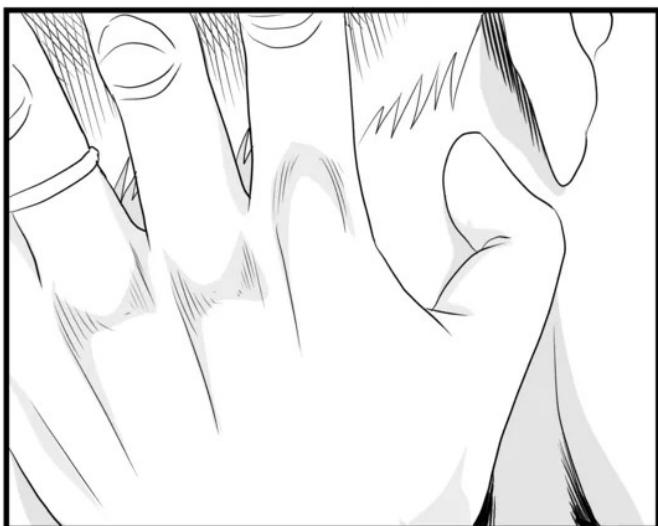


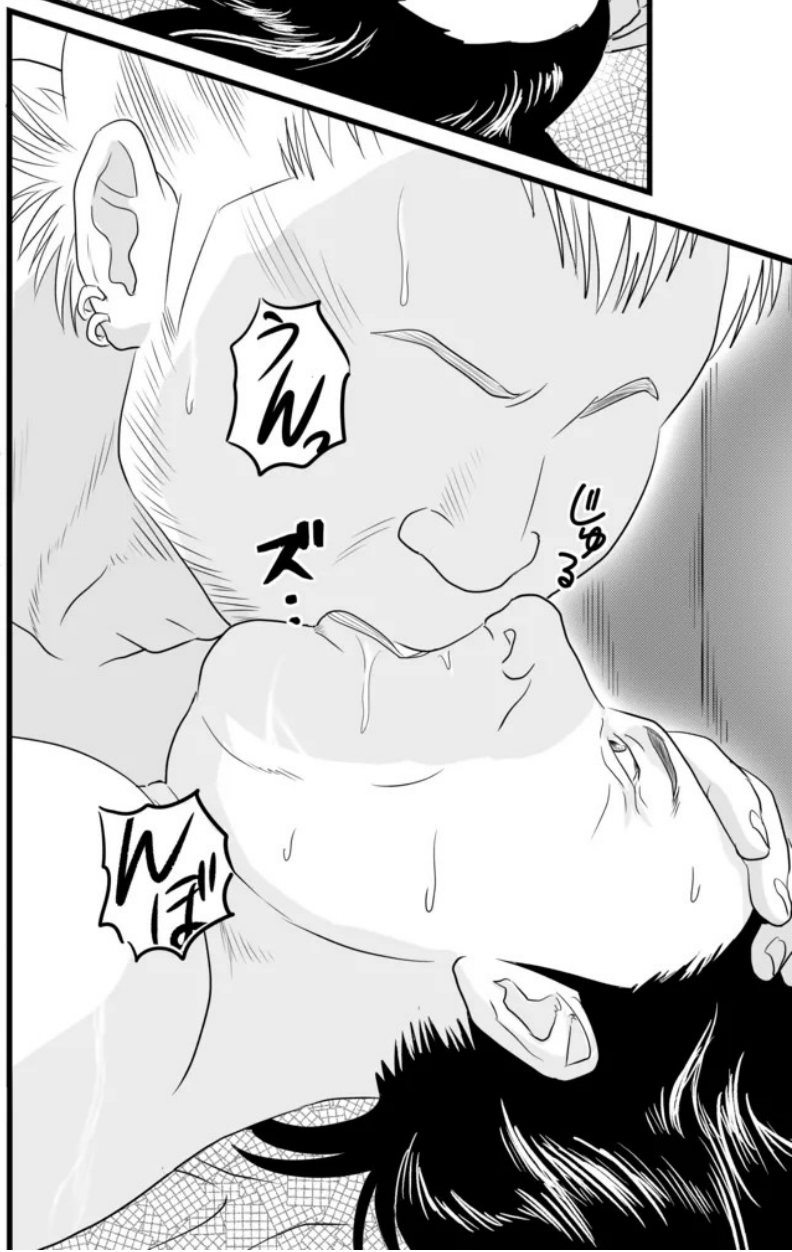
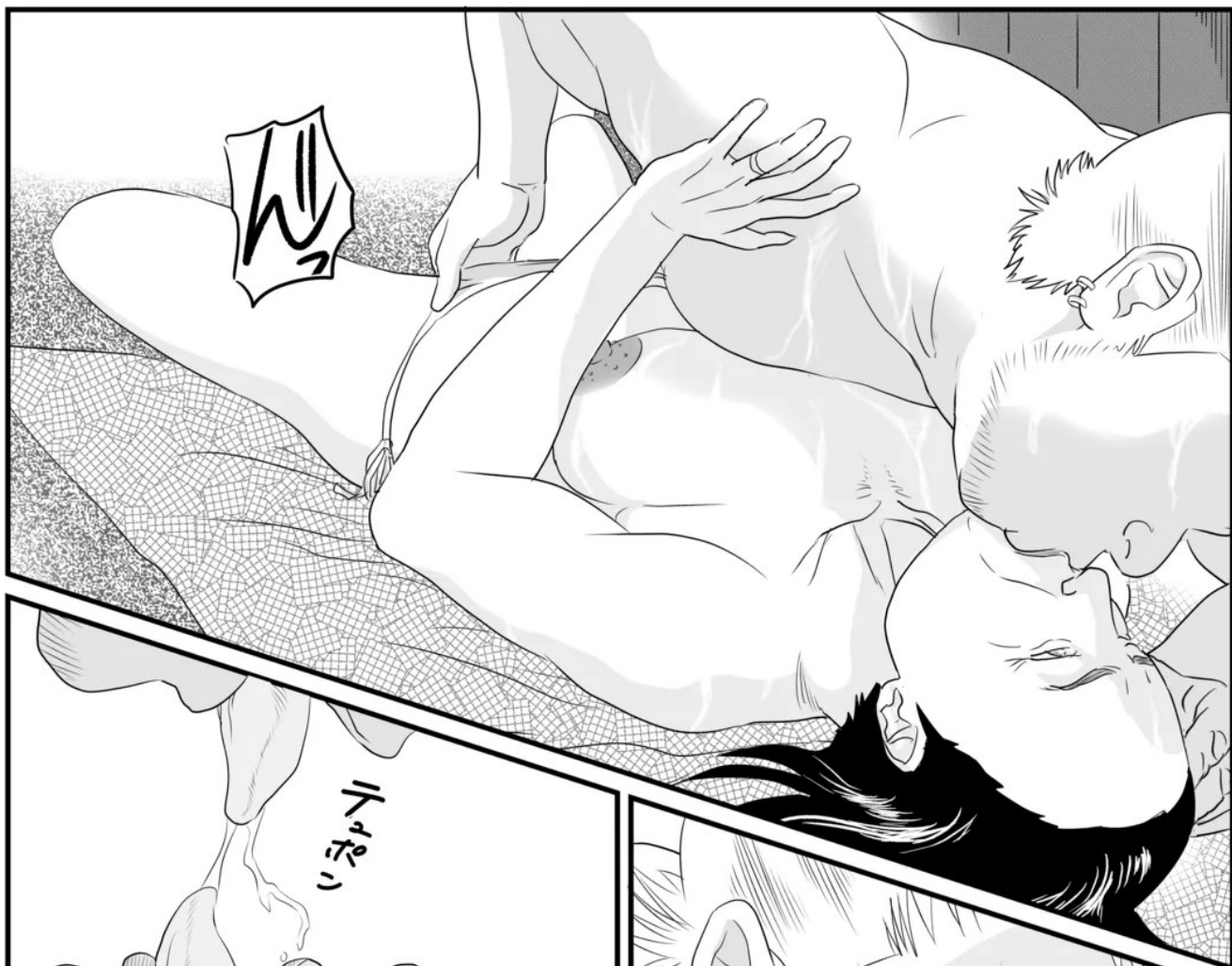
あの時の私は

どうかしてたのかも
しれない：

あ〜♡







ババア、お前
幸子って言うのか

ウチのババアと
同じ名前だな

お
ロ
ン
ッ

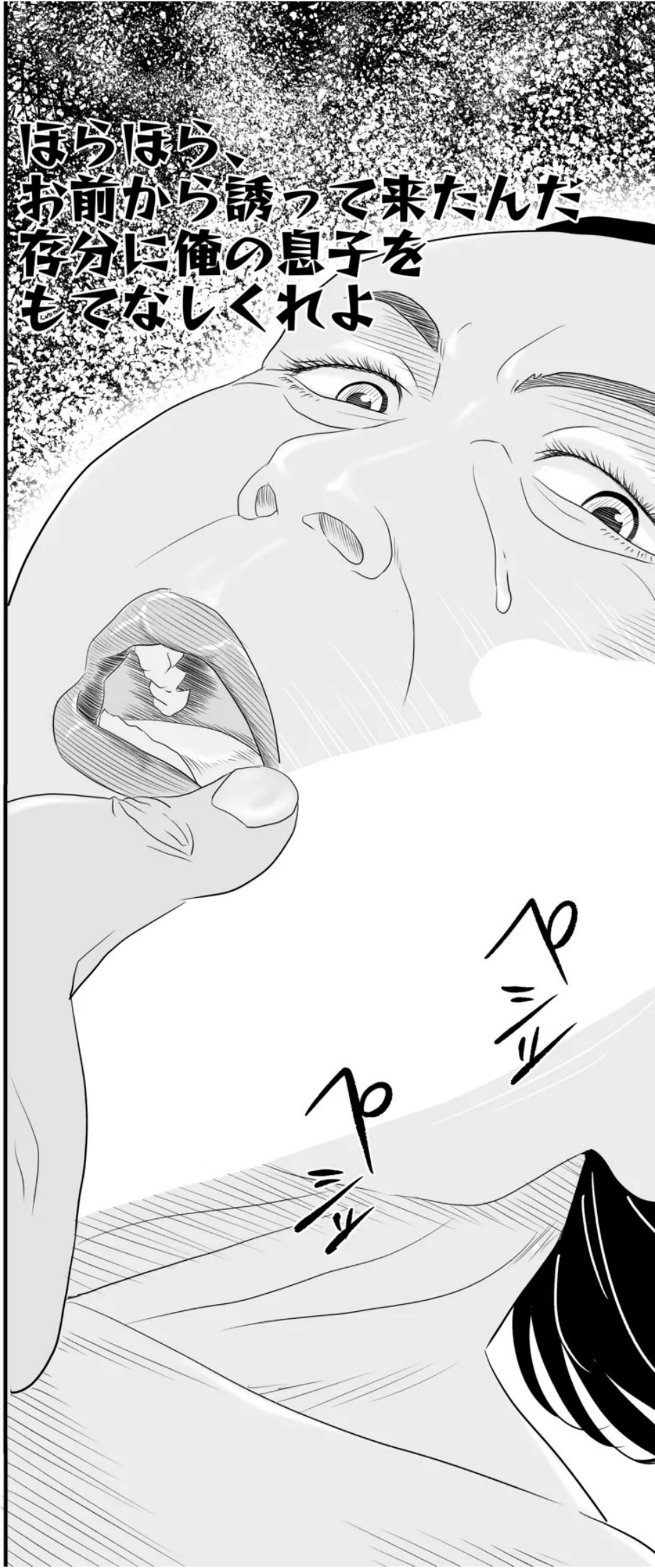
ず
い
っ

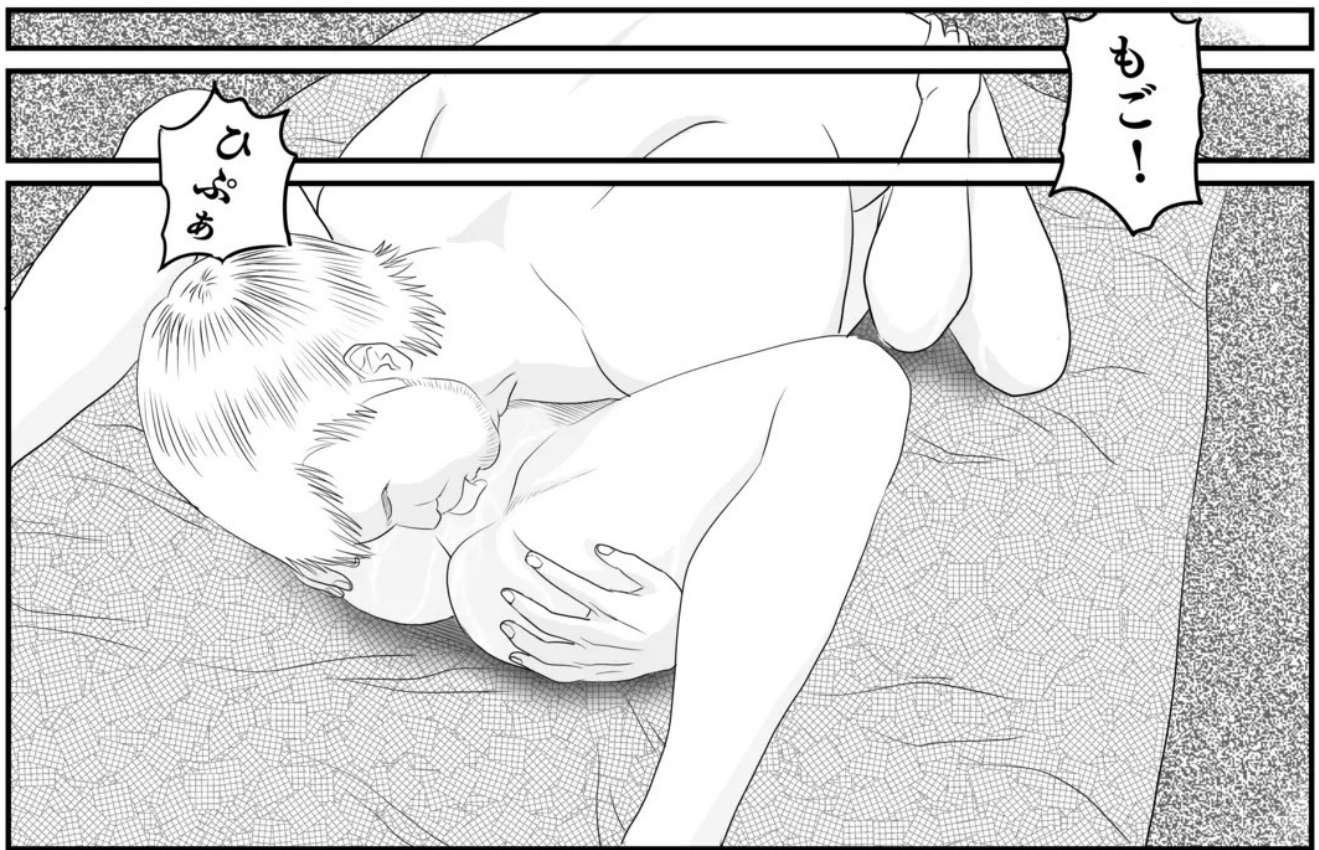
言われなくとも
思考が飛ぶくらい
快楽に溺れさせて
やるよ

ほら、コレが
欲しかったんだろう？



ほらほら、
お前から誘って来たんだ
存分に俺の息子を
もてなしてくれよ







おん
おん

おん

おん
おん
おん
おん
おん

おっ

ん

ズン
ズン



ぶえんぶ
ほおひふあふ

ふあひ

射精すぞ！
犯して欲し
かったら全部
飲み干せよ

ぽん ぽん

ちゅぽっ

ちゅぽっ



ゴクン

ポパン

とーっても濃くて
おいしかったわ♡

ねえ、これからが
本番なんですよ？



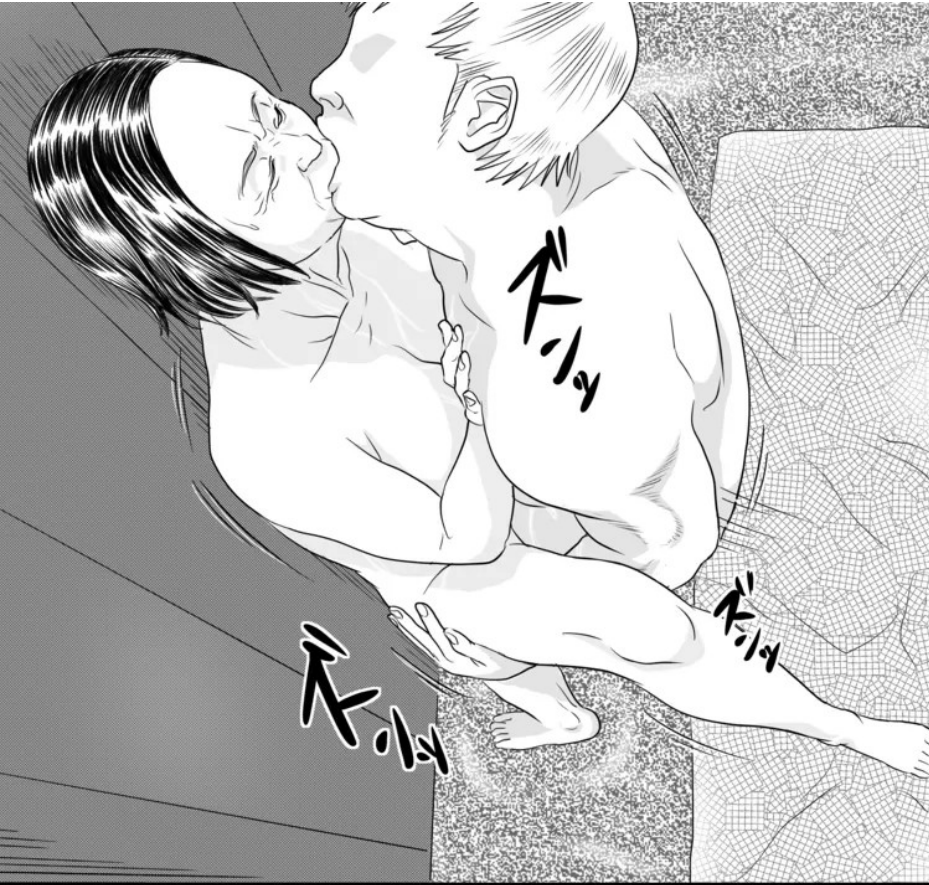
ズン

ズン



ご希望通り
犯しぬいてやるぜw

旦那も孫も
近くの浜辺にいるつてのに
とんだ好きモノだな!!





オラ、ババア
射精すから
使い古した汚ねえ
マ○コで全部
受け止めろよ

そんな言い方
ひどいわ
私だってまだ
立派な女なのよ

本当の事
だろうが！
オラァ

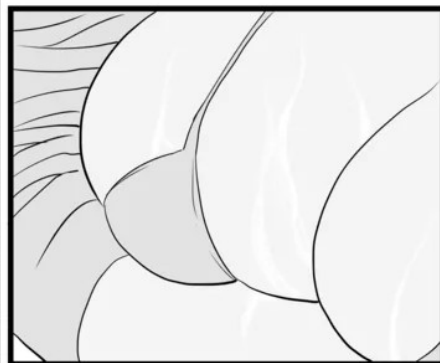
んふうん

.....



あの後も容赦なく
3発4発と…
あらやだ、こんな
回想人様の前で

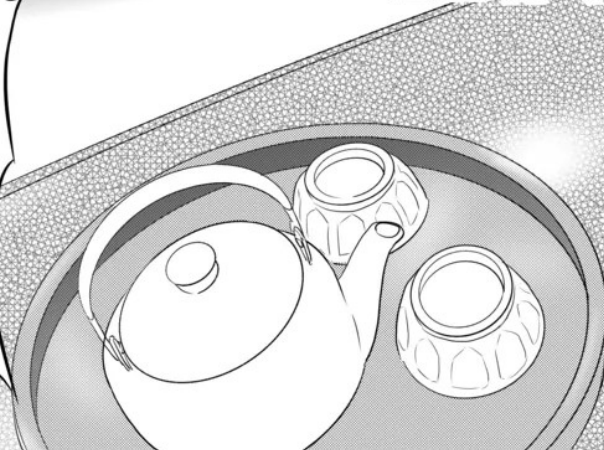
火照って
来ちゃったわ

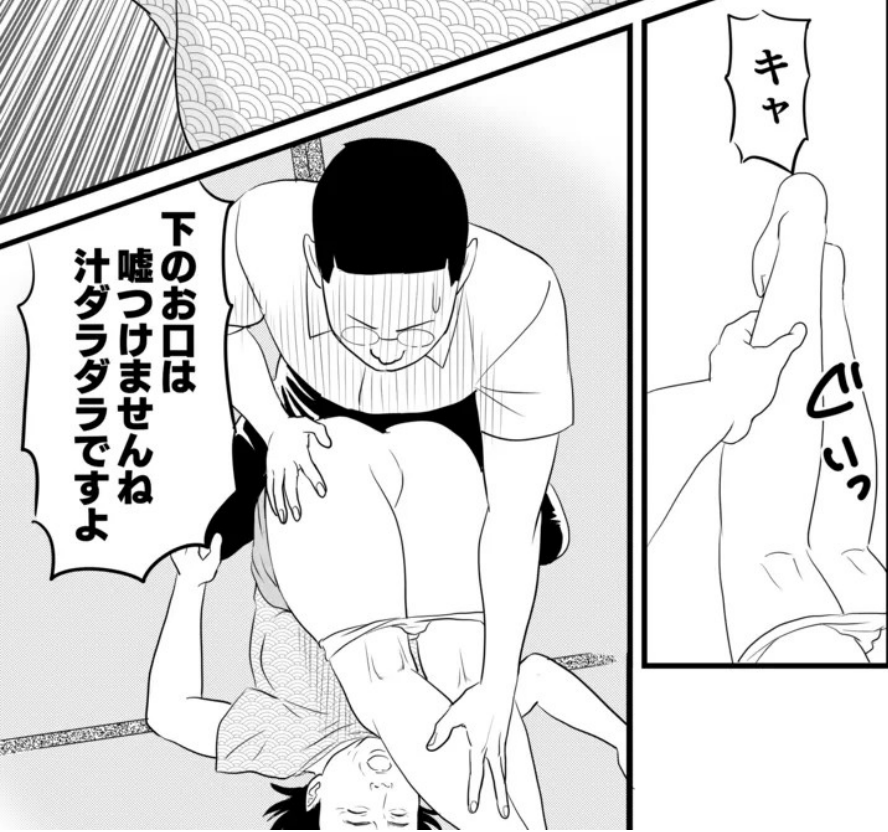


—海に行く数日前の事—

お義母さん
もう辛抱
堪りません

益男さん
イケないわ

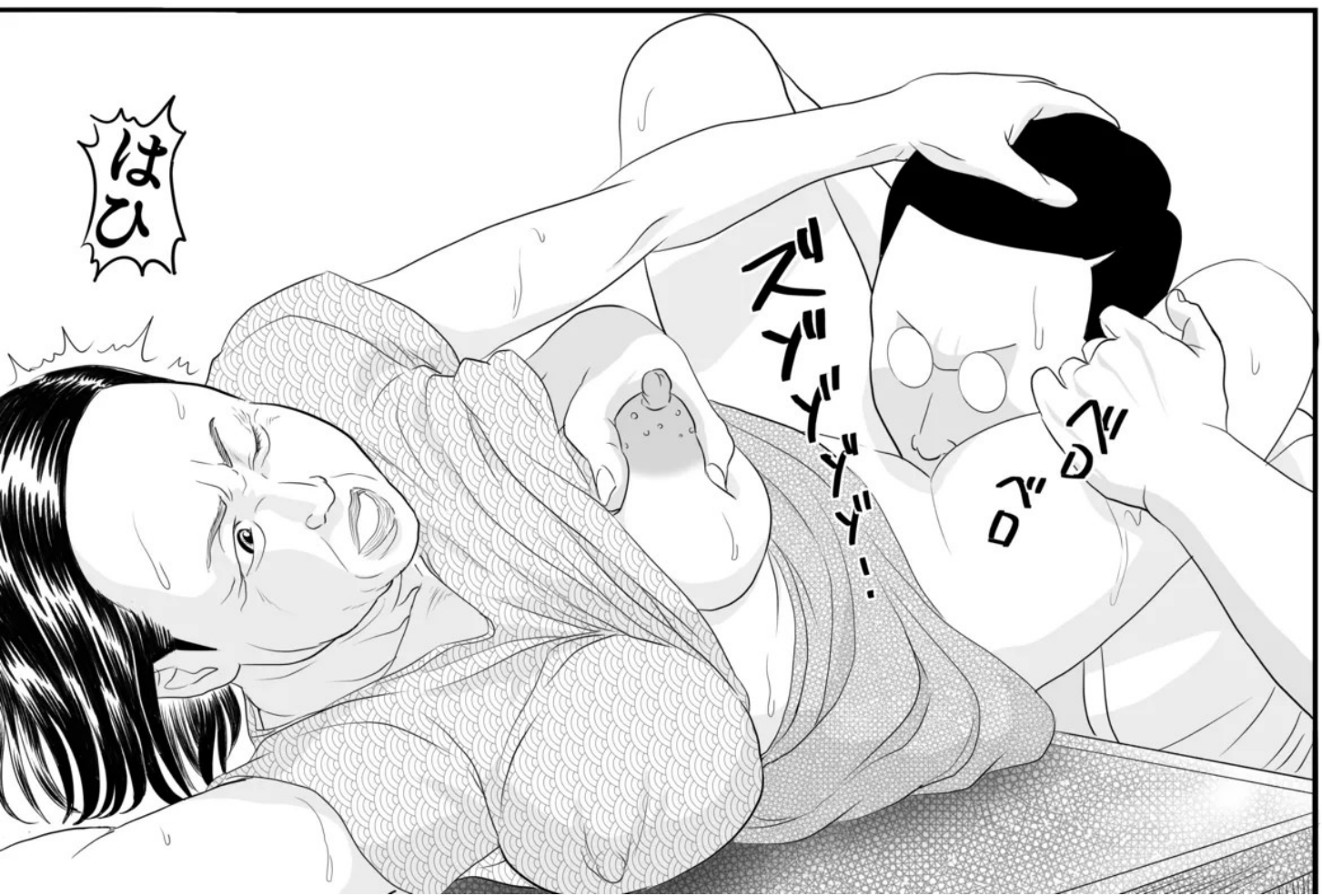
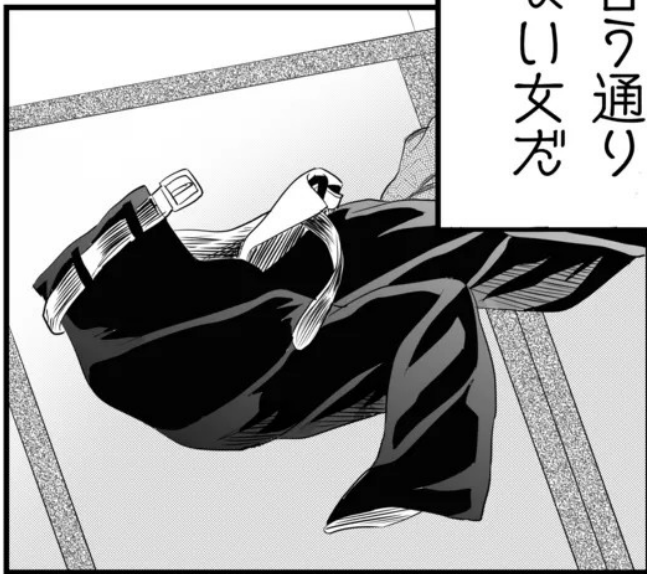








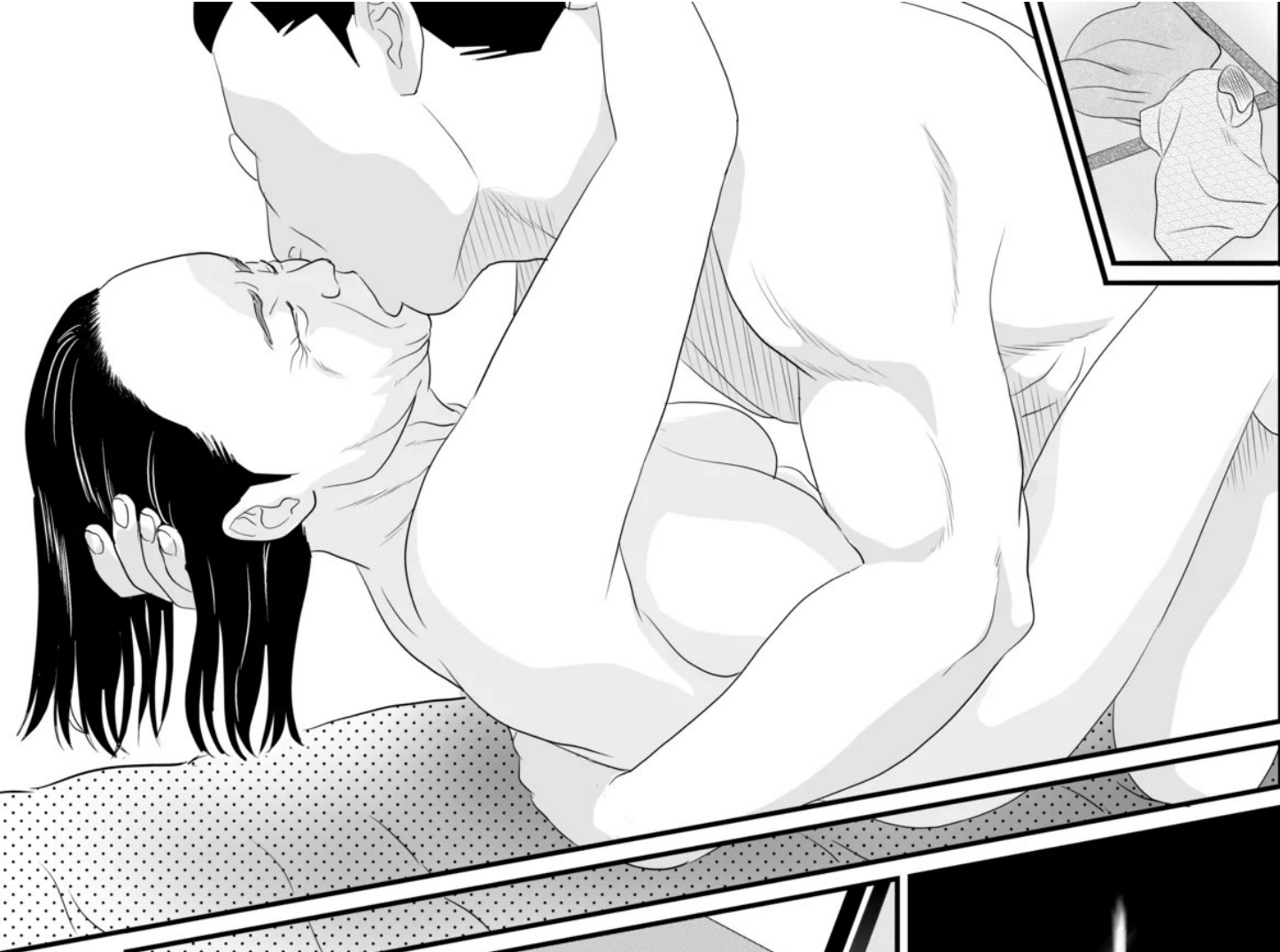
益男さんの言う通り
私ははしたない女だ

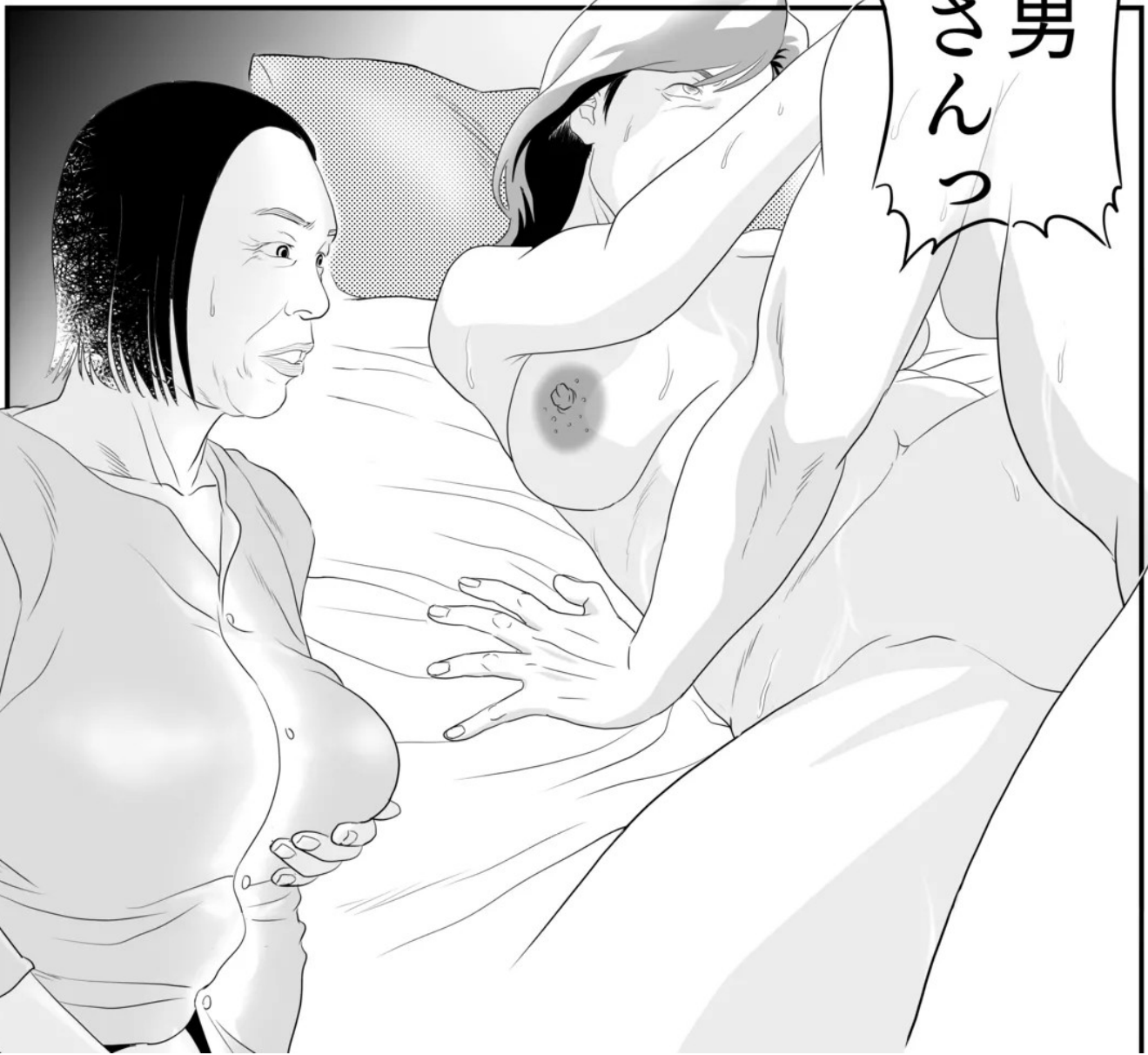




明美(娘)と益男さんの
夜の生活を覗き見て毎夜
私は一人興奮していた：









お義母さん



明美を狂わせていた

益男さんの…



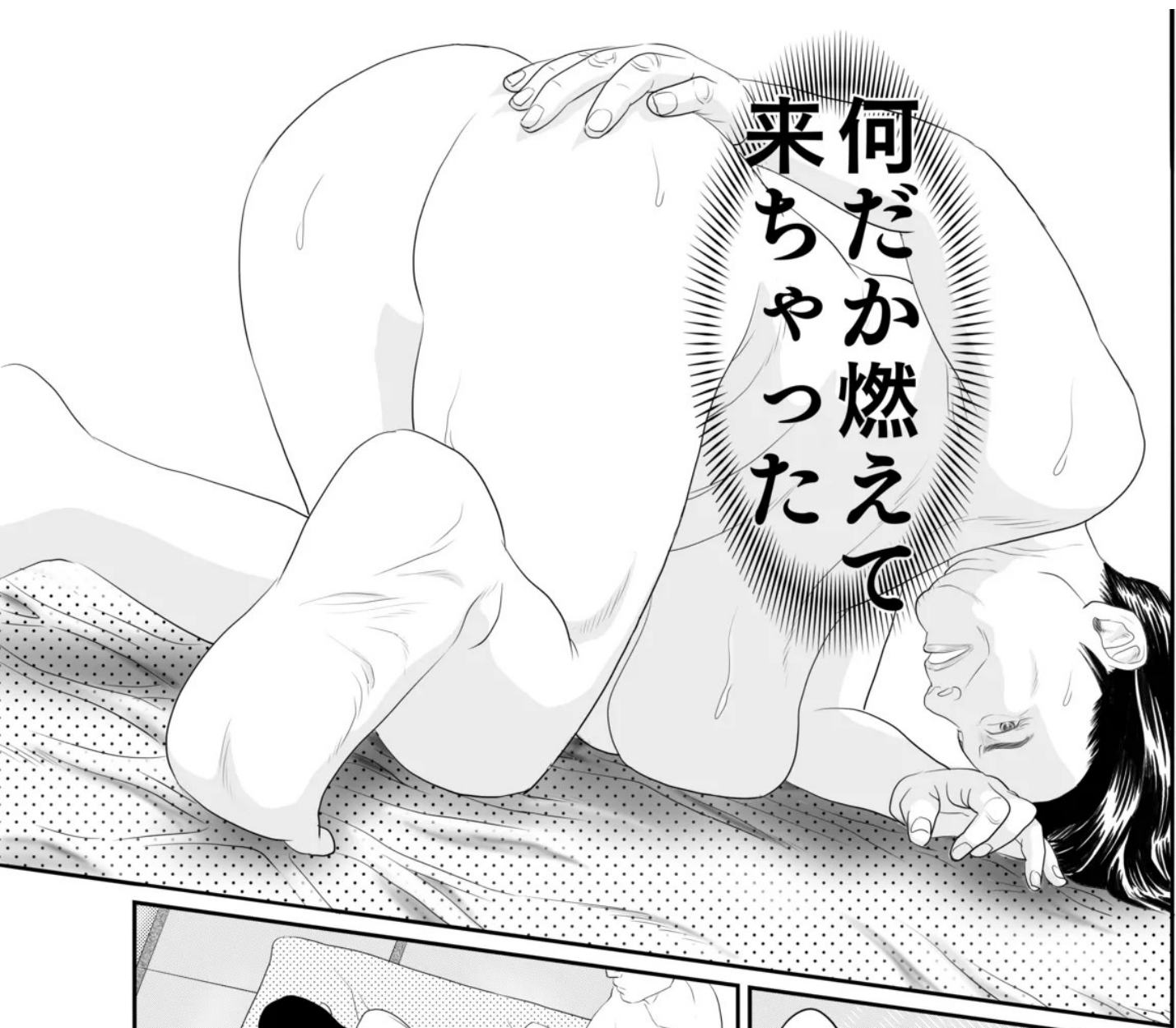
毎晩妄想でオカズにしていた

モノが目の前に

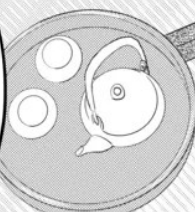








お義母さん
……



お願い





とても素敵よ
益男さん

お義母さんのも
明美より締りが
良くてとても
素敵です

もみ

お願い。

娘の名前は出さないで、

今は、母としての立場を

忘れていたいの。

ハア

ハア



だからお願い

私の事は呼び捨てにして

明美…

分りましたお…

幸子!

スパーン

パーン

パーン

パーン

気持ちいいだろ幸子

おらおらっ

ごめんなさい

う

うんっ

あん

母さん、

とても具合が
いいぞ幸子

お前のマ○コは
名器だな

益男さんのいい女になる

ひと

嬉しい

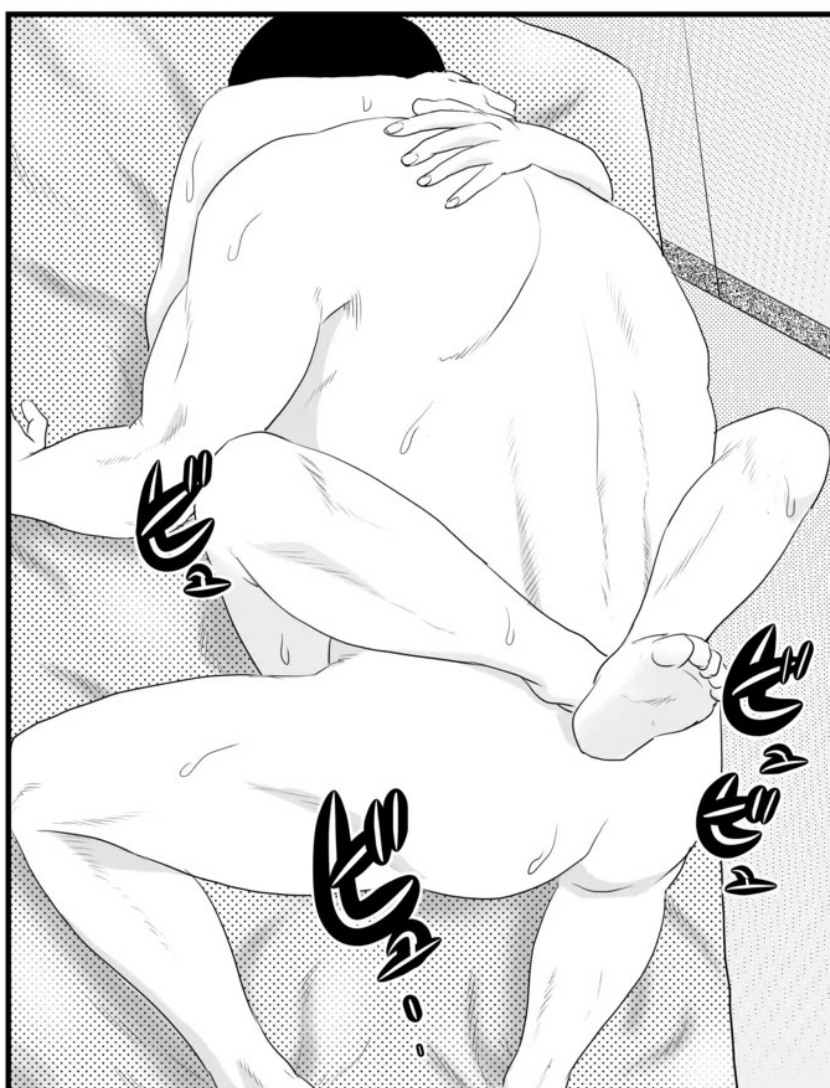
これからは
益男さんの
モノよ



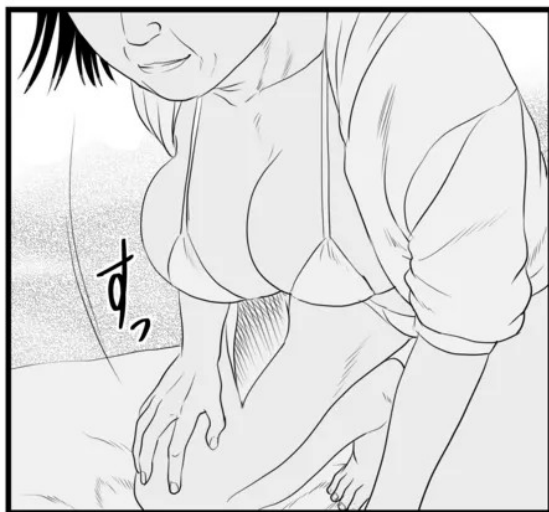
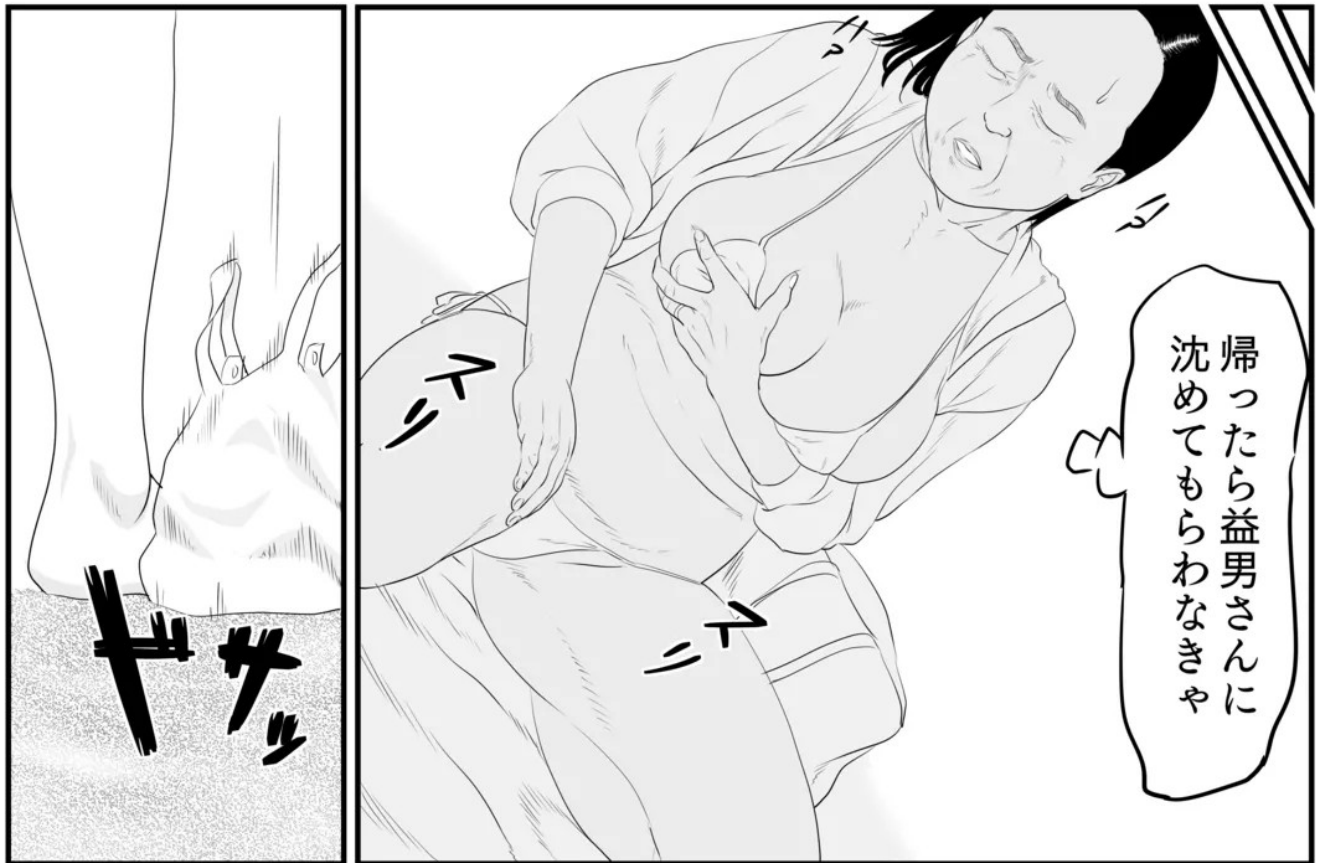
俺のチンポの
味はどうだ？
幸子っ

とっても
美味しいです









ぶっぴん

誠にありがとうございました!



今回はいつもより、高齢の熟女様で描かせて頂きました。

五十〇歳 還暦手前の幸子さん。

詳細な年齢は皆様のご想像にお任せするとして、近年は五十代でもお綺麗な熟女様が多くてウハウハですね。

まさにおかずに困る事がない。タイプな熟女様とお近づきになって白米に合うおいしいおかずを作って頂きたい (え?)

最後に幸子さんのエロさと魅力が伝わる事を祈ってまた次回作でお会いいたしましょう

■制作：サークルヒストリカ

2023・10

